記者発表

平成２１年１月２０日
北上川ダム統合管理事務所

１月２１日に第２回石淵ダム機能評価調査検討会を開催します
～有識者による記者会見を実施～

６月１４日８時４３分頃発生した「平成20年 岩手・宮城内陸地震」により被災を受けた**「石淵ダム」**について、これまで各種調査・計測、復旧工事等を行い、１１月１日から１２月１９日までに実施した安全確認（湛水）試験結果について、**有識者による「第２回　石淵ダム機能評価検討会」を１月２１日に開催**します。

なお、この検討会での検討結果について、**検討会終了後の１４：００より、胆沢ダム学習館において記者会見を行う予定です**。

第２回　石淵ダム機能評価調査検討会
議　事　次　第　（案）

日　時　：　検討会　　１月２１日（水）13:00～14:00
　　記者会見　　１月２１日（水）14:00～14:10

場　所　：　検討会　胆沢ダム学習館
　　記者会見　胆沢ダム学習館

【取材に関するお願い】
本検討会の公開については、規約により「検討会で定める」となっておりますので、検討会において審議いたします。
なお、検討会での検討結果については、検討会終了後の１４：００より記者会見を行う予定です。

ダムに関する情報につきましては、当事務所のホームページでご覧いただけます。
ホームページURL　http://www.thr.mlit.go.jp/kitakato/
＜発表記者会：岩手県政記者クラブ＞

問い合わせ先

国土交通省　北上川ダム統合管理事務所
副所長（技術）　鈴木　弘二
管理第一課長　　丸山　雄吉
TEL　０１９－６４３－７８３１

参考資料

【検討会の概要】

本検討会は、昭和２８年に我が国初の「表面遮水型ロックフィルダム」である石淵ダムの機能評価を行う目的（下記「設立主旨」参照）で、平成２０年７月１９日に設立され、今回が２回目の開催となります。

今後は、石淵ダムの管理終了（平成２４年度予定）まで、この検討会を継続する予定です。

石淵ダム機能評価調査検討会設立主旨

昭和２８年に完成した我が国初の「表面遮水型ロックフィルダム」は、胆沢ダムが完成することによりその役割を終えることとなる。

一方、ダムの長寿命化対策など効果的なダムの維持管理システムの構築が喫緊の課題となっており、完成後５５年を経た石淵ダムの機能を再評価することにより維持管理基準や評価手法の確立に大きく寄与するものと考える。

また、「岩手・宮城内陸地震」により被災を受けた石淵ダムの機能と技術的な評価についても検証する必要があり、今後の貯水池運用を活用した段階的な湛水と監視・観測を実施することとしている。

このため、①被災後のダム機能評価検証に対する指導・助言、さらに石淵ダムを活用した②ダム技術の再評価、③維持管理システムの構築に向け、専門家等による「石淵ダム機能評価調査検討会」を設置するものである。

石淵ダム機能評価調査検討会　委員名簿

・吉田等	（独）土木研究所	地質監
・松本徳久	（財）ダム技術センター	顧問
・藤澤侃彦	（財）ダム技術センター	顧問
・山口嘉一	（独）土木研究所	水工研究グループ ダム構造物チーム　上席研究員
・脇坂安彦	（独）土木研究所	材料地盤研究グループ グループ長
・藤澤和範	（独）土木研究所	土砂管理研究グループ 地すべりチーム　上席研究員
・阿部幸雄	国土交通省東北地方整備局	河川部　河川情報管理官
・佐々木隆	国土交通省東北地方整備局	胆沢ダム工事事務所長
・葛西敏彦	国土交通省東北地方整備局	北上川ダム統合管理事務所長